



駐車監視員資格者講習 20,000

※ 受 理 年 月 日	年 月 日
※ 受 理 番 号	
※ 修了証明書交付年月日	年 月 日
※ 修 了 証 明 書 番 号	

駐車監視員資格者講習受講申込書

年 月 日

岡 山 県 公 安 委 員 会 殿

(申請者の氏名)

申 込 者	本 籍					
	住 所	〒 ー 都道府県				
		電話 () ー (自宅・携帯)				
	(ふりがな)			性 別	男・女	写 真 (縦3.0cm × 横2.4cm)
	氏 名					
	生年月日	年 月 日生				
勤務先その 他の連絡先	電話 () ー					
受講希望 年 月 日						

実 施	※受講年月日	年 月 日から	※ 修了考查の結果	合 ・ 否
	(修了考查)	(年 月 日)まで		
	※ 受講場所			
	※ 受講番号			

記載要領

- ※印欄には、記載しないこと。
- 写真は、申し込み前6月以内に撮影した無帽、正面、上三分身、無背景の縦の長さ3.0センチメートル、横の長さ2.4センチメートルのものとする。

注意事項

- 1 駐車監視員資格者講習を受講し、その課程を修了しても道路交通法第 5 1 条の 1 3 第 1 項第 2 号に掲げる次のいずれかに該当する場合には、駐車監視員資格者証の交付を受けることができません。
 - (1) 1 8 歳未満の者
 - (2) 破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者
 - (3) 拘禁刑以上の刑に処せられ、又は道路交通法第 1 1 9 条の 2 の 4 第 2 項の罪を犯して刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から起算して 2 年を経過しない者
 - (4) 集团的に、又は常習的に確認事務の委託の手続等に関する規則第 3 条各号に掲げる罪のいずれかに当たる行為を行うおそれがあると認めるに足る相当な理由がある者
 - (5) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第 1 2 条若しくは第 1 2 条の 6 の規定による命令又は同法第 1 2 条の 4 第 2 項の規定による指示を受けた者であつて、当該命令又は指示を受けた日から起算して 2 年を経過しないもの
 - (6) アルコール、麻薬、大麻、あへん又は覚醒剤の中毒者
 - (7) 精神機能の障害により確認事務を適正に行うに当たって必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない者
 - (8) 道路交通法第 5 1 条の 1 3 第 2 項第 2 号又は第 3 号に該当して同項の規定により駐車監視員資格者証の返納を命ぜられ、その返納の日から起算して 2 年を経過しない者
- 2 講習の後に行われる修了考査において合格基準に至らなかった場合で、再度修了考査を受検しようとするときは、新たに講習から受け直さなければなりません。

納付済証貼付欄